

平成27年11月 9日発行

ふる里からの「ふくろうだより」

11月号 (霜月)

発行者：ふる里
社会福祉法人 尾崎会
デイサービスセンター ふる里

長崎県 大村市 鬼橋町 1416番地
TEL (0957) 27-4500
FAX (0957) 27-4501
ホームページ検索： [デイサービスセンターふる里](#)

『沖縄県立宮古高校のはなし<<教育ニュース速報から引用>>』



9月25日に行われた宮古高校の合唱祭。3年生のあるクラスが『全員サングラス姿』で、尾崎豊の『15の夜』を熱唱しました。尾崎さんを真似て、セリフを語る指揮の男子生徒のパフォーマンスもあり、会場は盛り上がりました。格好つけたかったわけではありません。クラスの中に子宮頸(けい)がんワクチンの副反応とみられる症状で光に敏感となり、サングラスが手放せない女子生徒がいたから。「1人だけサングラスは嫌だろうと思って」、一緒に舞台上立つ為に、クラスメートが提案しました。女子生徒は「皆と歌って超楽しかった。楽しい思い出が作れて良かった。」と振り返ります。

彼女は、中学2年生の時に子宮頸がんワクチンを接種。以来、頭痛や虚脱感といった異変が現れ、高校に入ってから手足のしびれ等で倒れ、保健室に運ばれることが増えました。呼吸が止まったり、けいれんで意識を失ったり。体調不良や入院により保健室で過ごすことも多くなりました。光に対して敏感になり、サングラスが手放せません。後遺症に気づいたのは、今年1月ワクチンの副反応のニュースを見てからでした。

宮古高校では毎年、体育祭、文化祭、合唱祭のどれかひとつを順番で開催しています。今年は合唱祭の年。当初、女子生徒は欠席するつもりでしたが、クラスメートに誘われ練習から参加しました。放課後の練習の後、「サングラスで本番出るの嫌だな。」とこぼすと、隣にいた生徒が「じゃあ、皆がサングラスして出ようよ。」と声をかけました。周りの生徒達も「いいね、曲の雰囲気合っているし…」と…。でも彼女は、「きっとサングラスをつけたくない人もいるはず。それに、持っていない人は買わなきゃいけない。私のために無理しないで…」。そう話すと、仲間達は、『大丈夫だよ。合唱祭終わったら絶対に「やってよかった」ってなるから』。担任の先生は、「私は学内で事情説明に回っただけ。彼女を練習に誘ったのも、サングラスをつけようと動いたのも、全部生徒達。リーダーがいるわけでもなく、大人しいと思っていた生徒達ですが、しっかり成長していました」。両親や祖父母から借りるなどして、当日は全員がサングラスを持参。登壇すると一瞬どよめいたものの、曲が終わると会場は大きな拍手に包まれました。当日、彼女の母親も様子を見ていました。体は辛そうでしたが、笑顔を絶やさない我が子。終わった後、クラスメートと握手しながら、「ありがとう。おかげで一つになれた。最高のクラスになったね。」その言葉を聞いた彼女は「この一言で、大変だったことが全部チャラになった。」と思ったそうです。これから彼女は学校を休んで治療に専念します。『「接種前に戻りたい」、「高校生活をやり直したい」との思いは叶わないので、早く治療法が確立され、元気な身体に戻りたいです。』と…。合唱祭をやり遂げたクラスの次なる目標は、「みんなで一緒に卒業する!」です。彼女は今日も闘っています。

From センター長 森 隆敏

ふる里ミニミニ運動会

10月行事は、ふる里恒例の『第17回ミニミニ運動会』を20日(火)・21日(水)・22日(木)の三日間行い、今年初めて運動会に参加される利用者さんを中心に選手の団長とし、その団長のみなさんによる選手宣誓で開幕う〜っ♪



我々選手一同は…

宣誓!

誓います!

競技種目

- 1 風船割り競争
- 2 飴食い競争
- 3 紅白応援合戦
- 4 入れさせないぞ!〜逆転玉入れ〜
- 5 ナイスシュート!大玉リレー!!

第一種目の「風船割り競争」では、椅子の上の風船を座ってお尻で割る「ケツ匠」競技。何故かカツラをかぶり(?)笛の合図とともに椅子に置いてある風船のところまで『猛ダッシュ』。みなさんのお尻の圧力の凄さで風船が粉々になっていました。職員とお手伝いに来られた方は自分達で頑張っ膨らますところから…その頑張りになぜか大笑いしてしまう楽しい競技でした。(笑)



やったあ〜♪

割れない〜!!

背中でお尻で割ります!



膨らまないよお!!

急いで!急いで!!

よし!割れたあ!!



みなさん…楽しんで取り組まれましたよ!

第二種目の「飴食い競争」は、粉の中に埋まっている飴を口だけで探して食べる競技です。勢い余って、もろぶたに顔を埋めすぎて真っ白け！誰かわからない顔に**大爆笑の渦**。ゴールした姿に驚きと笑顔がいっぱい、その瞬間に記念撮影パカ☆さて、色白(?)に化粧された方々の中で、あなたの**ナンバー1**はどの顔ですか～？



第三種目は「紅白応援合戦!!」この日の為に紅白に分かれた職員は、一生懸命限られた時間で練習を頑張りました！当日まで何をやるのかお互いにわからず、衣装など凝らした姿に皆さん何事かと思われたようでしたが、職員の演技と一緒に**応援合戦**に参加されていました。みなさん！一生懸命に自分の組を応援されていました。

紅組の応援 白組の応援



第四種目は「入れさせないぞ！～逆転玉入れ～」(御利用者団体競技) 団体競技の定番「玉入れ」を工夫し、お邪魔マンに邪魔をされながらも赤白交互に座った大きな一つの円から自分のチームのカゴを狙うといった新感覚の玉入れ。接戦の戦いが多く、とても盛り上がりました。



最終種目は、「ナイスシュート！大玉リレー!!」(職員団体競技)、背負いカゴにボールを入れてから大玉ころがしで中庭を一周するリレー方式の競技。なかなか背負いカゴにボールが入らずに職員は苦戦していましたが、入った時は歓声が上がり、大いに盛り上がりしていました。職員の頑張りに利用者の皆さんも大きい声を出したり、立ち上がったたりして、熱く応援されるとともに笑いに包まれたゲームとなりました。



次の日くらいから、何名かの職員は筋肉痛が起きたそうで、今回の運動会で少し運動不足の解消になった事だと思いたいです。職員の体力向上を担う行事でもあります。(笑)

＝ 訪問ボランティア ＝

10/28(水) さつき会の方々が訪問ボランティアで日頃の練習の成果を披露されました。



～結果発表～

優勝旗授与



一日目
二日目
三日目

今年は白組の3連勝で閉幕。紅組だった職員はとても反省するとともに悔しがっていました。来年、また頑張りましょう!! From 行事担当 三岳 健吾 栗山 晃子

在宅介護支援センター ふる里

【在宅介護支援センターふる里】とは…

社会福祉法人として設立され運営している事業です。地域の身近な総合相談窓口として、福祉専門のソーシャルワーカーが安心生活のため様々な相談に応じます。

また、地域の老人会や趣味サークルを中心とした団体等に、介護予防教室、健康体操、レクリエーションの指導を行い、生活の安心と喜び、地域の活力が生み出されるように取り組んでおります。

相談に関する手数料やご利用に係る料金は無料です。お気軽に皆さまの地域の身近なパートナーとしてご活用下さい。



十一月の行事予定

◆ふる里11月行事 『さあ～みんなで考えよう!』
24日(火)・25日(水)・26日(木)

- ◆生花教室 ～山崎弘子先生～ 11日(水)・27日(金)
- ◆書道教室 ～古瀬恭孝先生～ 5日(木)・16日(月)
- ◆おはなしの部屋～鐘ヶ江先生他～ 23日(月) ※1
- ◆おし花教室 ～中村寿美子先生～ 17日(火)
- ◆やわらぎ(針灸マッサージ師)～平島泰士先生～…毎週火・木・金曜

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後
4・11・18・25日実施予定

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、午前中入浴となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。
※2 おしゃれサロンは、先生のご都合によりしばらくお休みいたします。

今月の作品



先月の30日は『ハロウインの日』。日本ではまだ馴染みはありませんが、日本でも流行りつつある国民的なお祭りといえます。もともとヨーロッパの古代ケルト人の秋の収穫を祝うお祭り。それと悪霊などを追いはらう宗教的な意味合いのお祭りでもありました。ケルト人の中では、この日が一年の終わりで亡くなった人の魂がこの世に帰ってくる日ともされ、日本でいう『大晦日』と『お盆』が同時に来る日です。カボチャのランタンを灯りに自由に仮装して盛り上がるこの日、ふる里で出来たカボチャもランタン風に飾りつけをしました。

編集後記 三岳 健吾